

CLT利用促進セミナー

— 木材利用から始まる地方創生の可能性 —

参加費
無料



真庭市 北房こども園



林産試験場実験棟「Hokkaido CLT Pavilion」



(仮称) 泉区高森2丁目プロジェクト

道内では、カラマツやトドマツ等の人工林資源が利用期を迎え、森林の有する多面的機能を持続的に発揮するために、森林づくりと道産木材の利用による「森林資源の循環利用」の確立が重要となっています。

軽量で強度に優れたCLTは、これまで木材が使われてこなかった中高層や非住宅建築での木材利用を可能にするなど、木材の需要を飛躍的に拡大する可能性を持った部材として、森林資源の循環利用や林業・木材産業の成長産業化、さらには雇用の創出など山村地域の活性化にも大きく貢献することが期待されており、現在、国内の多様な建築物で利用が加速しています。

このため、森林資源を活用して地方創生を進めている岡山県真庭市の先駆的な取組や、道内外の建築物におけるCLTの利用事例等の紹介を行い、道内の建築物にCLT等の道産木材の利用を促進し、森林資源の循環利用や林業・木材産業の成長産業化による地方創生の実現を目指します。

○平成31(2019)年

受付開始 13:00

3月19日(火) 13:30~17:00

○TKP札幌駅カンファレンスセンター
3階 カンファレンスルーム3D
(札幌市北区北7条西2-9)



【主催】北海道

【後援】北海道経済連合会、(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場

プログラム、参加申込書や問合せ先は裏面をご覧ください

プログラム

1. 北海道におけるCLT利用拡大の取組について(仮)

<北海道水産林務部林務局林業木材課長 工藤 森生>

2. 道産建築用材の自給率と利用による地域経済波及効果について(仮)

<(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場 研究主任 古俣 寛隆 氏>

3. CLTなどの森林資源を活用した地方創生の取組について(仮)

<岡山県真庭市長 太田 昇 氏>

4. 中高層建築におけるCLTの使い方について(仮)

<三菱地所株式会社 海老澤 渉 氏>

5. 木の特徴を活かした木造建築のデザインについて(仮)

<株式会社遠藤建築アトリエ代表取締役 遠藤 謙一良 氏>

6. CLTの特性と研究成果について(仮)

<(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場 研究主幹 松本 和茂 氏>

参加申込書

申込期限
3/12

先着順となりますので、次のいずれかの方法によりお早めにお申し込みください。(定員:150名)

【Eメールの場合】

所属団体、役職名、氏名、電話番号、メールアドレスを記入の上、次のアドレスにお送りください。

Email : wataya.shoutarou@pref.hokkaido.lg.jp

【FAXの場合】

本申込書に必要事項を記入の上、次の番号にお送りください。

FAX : 011-232-1294

所属団体名			
役職名	氏名	役職名	氏名
連絡先	電話番号 : (担当:)		
	メールアドレス:		

問合せ

北海道水産林務部林務局林業木材課利用推進グループ
広瀬・綿谷 TEL:011-204-5492